

事務事業評価表(既存事業)

コード 15-1-1	事務事業名 監査事務	所管部課 監査委員事務局
---------------	---------------	-----------------

事務事業の概要	事務事業の目的 公正で合理的かつ能率的な市の行政運営確保を目的とし監査等を実施するに伴う事務の遂行。	総合計画上の位置づけ
	実施内容、実施方法 法令により定められた権限に基づいて、市の財務に関する事務執行及び経営に係わる事業の管理その他について監査等を実施するに伴う事務の遂行。	根拠法令等 地方自治法、監査委員条例等
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 監査等の数	活動指標の考え方(定義) 監査等に係る事務をいかに効率的、効果的に行うか。
	成果指標名 監査事務に対する経費、時間	成果指標の考え方(定義) 監査事務執行に際し要された経費、時間

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		460	436	482	540
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		460	436	482	540
	所要人員(B)	人	4.00	4.00	4.00	4.00
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	32,984	33,092	33,312	33,312
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	33,444	33,528	33,794	33,852
	単位当たりコスト (E)=(D)/(監査等の数)	千円	1,967.29	1,764.63	2,252.93	
歳入	千円					
活動指標	目標値	件			15	16
	実績値	件	17	19	15	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	千円			33,794	33,852
	実績値	千円	33,444	33,528	33,794	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし
	国・都・他市・民間等 における類似事業	全国の都市で法令に則り監査業務は行われている。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	特になし

コード 15-1-1	事務事業名 監査事務	所管部課 監査委員事務局
---------------	---------------	-----------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	監査事務は概ね良好に行われた。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	法令により行わなければならない。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	適正な職員数で実施されている。経費も適正である。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	監査に係る事務は公平に行われている。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	監査事務の性格上、継続実施である。

17年度における改善点	
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	
--------	--	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。